

NEDO ReAMo 本活動の目的と目標(2023年度)



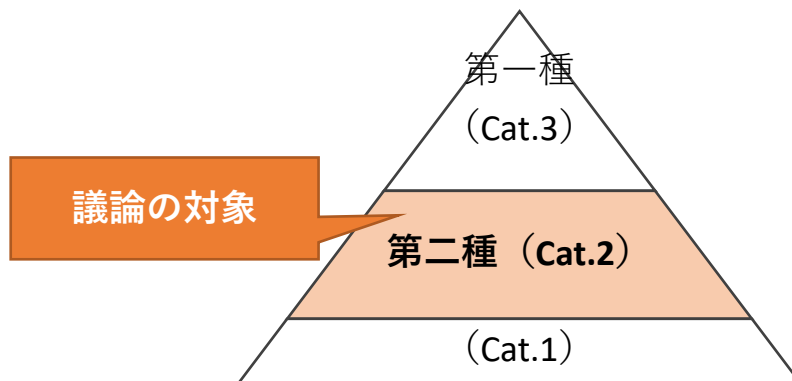
【目的】機体メーカー・部品メーカー・検査機関が活用可能な文書作成を通じ、対話/議論を実施することで、無人航空機産業の発展に寄与する

【目標】無人航空機の機体の認証（型式認証/機体認証）を円滑にするために、国内産業界の標準化活動を実施し、機体の安全基準に対する「適合性証明に活用可能な証明手法（MoC : Means of Compliance）」を整備する

- 2023年度は無人航空機の「第二種」の機体に適用可能なMoCを検討・作成する

検討するMoCは、航空局から発行済みのガイドライン※の詳細化を目指した「解説書」の位置付けで検討・作成する

- 航空局のガイドラインの解説書を、産官学共同で詳細化をすることで、機体メーカー・検査機関が活用可能な文書を目指す
- **第二種の機体のMoCを議論**することで、第一種の機体のMoCについても理解を深める
 - 機体のタイプはマルチコプターを中心とはするが、一旦は限定せずに各サブWG単位で必要に応じて議論



本活動で主に議論を実施する
「機体の種別(カテゴリ)」

※ 無人航空機の型式認証等の取得のためのガイドライン、国土交通省航空局
<https://www.mlit.go.jp/koku/certification.html#anc01>